

—きもの・レトロ & モダン—

日本のおしゃれ展

平成16年
4月20日(火)
～5月23日(日)

■開館時間

午前9時～午後5時
土曜日～午後7時
(入場は閉館30分前まで)
※4月20日は10時開場

■休館日 月曜日(但し、5月3日は開館)

■入場料

一般 1,000円(800円)
高・大学生 600円(400円)
小・中学生 400円(200円)

※()は前売り及び20名以上の団体
※観覧券は、広島市・呉市の主なプレイガイド、
画材店などでも販売しています。

■主催 広島県立美術館・日本経済新聞社

■後援 中国新聞社・NHK広島放送局・中国放送
広島テレビ・広島ホームテレビ・テレビ新広島
広島エフエム放送・ひろしまPステーション
ふくやまエフエム

■協力 市田株式会社

■ 広島県立美術館

〒730-0914 広島市中区上城町2-22
TEL 082-221-6246 FAX 082-223-1444



五月のおしゃれ着



花と水の春の御膳



六月の御膳



大勢全員の御膳

◎池田重子コレクション西日本初公開！

—きもの・レトロ&モダン— 日本のおしゃれ展

明治・大正・昭和初期は、西洋文化の大きな影響を受けながら、華やかなデザイン・繊細な刺繍や染めなど、染織工芸のきわめて高度な技術に支えられ、着物文化が最も光り輝いた時代でもありました。

今回の展示は、わが国を代表する着物コレクター池田重子氏の貴重なコレクションの中から、“昔きもの”ブームの発端となった作品を中心に、四季折々のきもの約90点を帯・半襟・帯留めなどとコーディネートし、一挙に観覧するものです。

費を尽くして生み出された逸品、時代を超えて集まった名作が、研ぎ澄まされた現代のドレスアップ・スタイルとしてよみがえります。

近年、古典の見直しが進む中で、日本が世界に誇る手工芸のレベルの高さを再認識し、近代の粋（いき）についてあらためて問いかけます。



御膳様の全編の正装

■美術講座

日時：平成16年 5月1日出 14:00～
講師：岩永潤佳子
[東京造形大学准教授「日本のおしゃれ」講師・コーディネーター]
演題：「よみがえる近代日本のおしゃれ」
場所：美術館講堂（定員200名）
聴講無料

■古ざれ小物ワークショップ（友の会共催）

日時：5月9日 14:00
（所用時間2時間程度）
講師：植田久美（講師）
内容：アンティーク着物のハギレを使って、
懐紙入れをつくります。
場所：1階ロビー
募集人数：15名 材料費：500円

申込先着順で4月30日まで、定員がなくなり次第、電話受付を中止して募集してまいります。お申し込みの際は抽選に予定をいたします。



○JR広島駅より約1km ○広島城より約400m

○市内電車・バス「観音堂前」下車約20m

広島県立美術館
HIROSHIMA PREFECTURAL ART MUSEUM
<http://www1.jpas-net.or.jp/>



銅子に貼のおしゃれ着



アール・ヌーヴォー調のおしゃれ着



半袖のおしゃれ着



懐紙のおしゃれ着